

チーム医療：呼吸ケアチーム（RST）

—関係部署—

心臓血管外科
循環器内科
外科
歯科口腔外科
血液内科
整形外科
総合内科・感染症内科
呼吸器外科
内科

—概要—

2010年度の診療報酬改定から、呼吸ケアチーム(RST: Respiratory care Support Team)加算が新設された背景から、当院でも同年よりRSTが結成された。

2015年度は呼吸器内科医師、集中ケア認定看護師、臨床工学技士、理学療法士が引き続きコアメンバーとなり、人工呼吸器離脱のための呼吸ケアに係る専任チームとして活動した。コアメンバーの他、医師以外の各職種から新たなメンバー1～2名が加わった。

RSTの目的は、人工呼吸器の離脱に向け、患者家族の苦痛緩和を含む呼吸管理および看護方法の相談を受け、医療チームを支援することである。安全な呼吸ケア提供のために必要な知識を医療者に提供し、医療の質向上を目指した。

昨年度のRST対象患者はのべ14名であったが、今年度は7人と減少した。

活動内容は週1回のラウンド【毎週水曜PM1時間程度で1～数名】に加え、定期ラウンド以外にも個人ラウンド(メンバーが単独で訪問し、主治医・受け持ち看護師と共にケアを実施)を行った。当該部署でのケア継続のために、回診時はRST診療録の記載と、回診内容の口頭・メール伝達を行った。スムーズな呼吸器離脱とその後の呼吸ケアについて助言・支援し、患者の心身の苦痛緩和、安全確保、看護師のケア能力の向上を目指して相談を受け支援を行った。呼吸ケアに関するデータ収集(人工呼吸器離脱率や再挿管率・離脱成功基準や失敗の理由・依頼状況や素因・人工呼吸器離脱患者数・人工呼吸器日数など)も、継続して行った。

—実績—

RST対象患者は7人
総回診数50回

35回 回診×150点＝点/年。

呼吸ケアに関するデータ収集結果

呼吸器離脱率：85%

呼吸器装着人数：7人

呼吸器装着日数：平均65日

介入後呼吸器離脱までの日数：平均45日

再挿管率：0%

死亡率：0%

VAP 発生率：不明

誤嚥性肺炎発生率：不明

肺合併症（嚥下訓練・呼吸訓練）管理相談：0件

人工呼吸器ケア管理相談：0件

看護局の教育委員会主催の研修講義

呼吸・循環フィジカルアセスメント

画像と血液データの見方

人工呼吸器装着患者看護

ラダーⅠ（4回）+ラダーⅡa（3回）

RST主催の勉強会：0件

新採用者へのRSTチーム活動紹介：1回/年

—今年度の成果と反省点—

前年度と比べRST対象患者は減少したが、抜管率の上昇・再挿管率の減少がみられており、安全な人工呼吸器離脱への援助が行えた。しかし合併症やケアに関する相談がなく、今後は看護ケアへの提案などが必要だと考える。

—来年度への抱負—

RSTラウンドと個人ラウンドの連動を強化させ、対象患者の増加と人工呼吸器離脱件数をともに10件以上の実績を作り、スタッフに頼られる活動を行ってきたい。

